

# 気をつけよう！秋のケモノ被害



## ツキノワグマの出没にご注意ください

ツキノワグマの出没との関係性が高いといわれている高標高域の堅果類の豊凶調査が実施され、今年度の着果状況は、ミズナラ・コナラの作柄は「例年並み」、ブナの作柄は「不作」の結果が出ています。今後エサを求めて活動が活発化する9月から11月にかけて、以下の点に注意してください。

### 〈クマと出会わないために〉


- クマの餌となる実のなる木（ブナ・クルミ・クリ・ミズナラ・ヤマブドウ・カキなど）の付近には、近づかないようにしましょう。
- 山菜採りや山沿いの畑作業の際は、鈴やラジオなど音の出るものを携帯しましょう。
- 入山地域のクマの出没状況を事前に確認しましょう。
- 見通しの悪い場所には立ち入らないようにしましょう。

### 〈クマを引き寄せない〉

- 田畑や山際に野菜クズなどの放置はやめましょう。（土に深く埋めるか畑から持ち出すようにしましょう。）

### 〈クマに出会ったら〉

- とにかく落ち着き、騒がず、ゆっくり後退してください。決して、走って逃げてはいけません。
- 子グマの場合は、付近に親グマがいないか、注意しましょう。
- 攻撃が避けられないときは、地面に伏せ、両手で首の後ろをガードして頭と首を守りましょう。

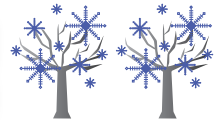
 山際や山の中には、捕獲用の檻やくくり罠が設置してあります。大変危険ですので、絶対に近づかないでください。

〈クマを目撃した場合や痕跡を見つけた場合〉できるだけ詳しい情報をお寄せください。

■ 問合せ 南越前町鳥獣害対策協議会 ☎ 47-8001 (南条) ☎ 45-8002 (今庄) ☎ 48-2111 (河野)  
※ 県内のクマ出没情報については、町ホームページをご覧ください。



## 秋から冬の獣害対策



### 1 ケモノのエサとなるものを放置しないようにしましょう。

山にエサがなくなる冬期に、ケモノにエサを与えないことが大切です。  
無意識のうちに、ケモノへエサを与えていませんか？

**ワンポイント** 田んぼのひこばえ（二番穂）は放置せず、「秋起こし」を行いましょう。

### 2 柿・栗など果樹の実を残さず収穫をしましょう。

柿や栗などの果樹の実を採らずに残していませんか？  
放任果樹は、ケモノを里に引き寄せ、ケモノを繁殖させる原因の一つです。

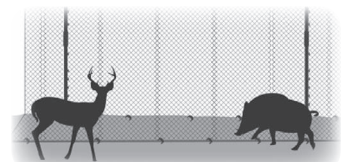
**ワンポイント** 全て収穫出来ない方は、他の人に収穫を依頼するか、枝の剪定をしましょう。  
管理がされていない果樹や収穫しない果樹はできる限り伐採をしましょう。



### 3 稲の収穫が終わっても、電気柵の役割は終わってはいません。

イノシシによる大豆やそばの被害や畔の掘り起こしが発生しています。  
近年は、ニホンジカによる大麦被害も深刻になっています。

**ワンポイント** 積雪までは電気柵を設置し、必ず通電しましょう。  
シカの被害が発生している圃場は、柵を高くしましょう。



### 4 サルの群れが出没したら集落で協力し、追い払いをしましょう。

町では被害軽減のため、選択的捕獲を継続的に実施し、さらに追い払いを実施し被害を激減させている集落があります。

**ワンポイント** 町のホームページや携帯電話へのメール配信サービスなどの、サル群れ出没情報を活用し、サル群れ出没に備えましょう。

集落でロケット花火や爆竹の音がしたら、みんなで協力し、追い払いを行いましょう。

■ 問合せ 農林水産課 ☎ 47-8001